



※インタビューは、写真前列の3年生5人に協力いただきました。
左から、清水さん、佐野さん、三宅さん、江口さん、谷口さん

みんなで出られる最後の大会 最高の思い出ができた

輝いている人

7月に開催された県高校総体代替大会で優勝し、23年ぶりに岡山の頂点に立ったのが、総社高校女子ハンドボール部だ。「このメンバーなら絶対勝てると思っていました。みんなの強い気持ちが優勝につながった」と主将の三宅由希子さんに、脚の怪我から約1年ぶりに復帰した佐野綾花さんは、「3年生の5人全員が出場した最初で最後の大会。後悔がないプレーができました」と晴れやかな笑顔を見せた。

優勝と同じくらいうれしかったと3年生が口をそろえたのは、準決勝の倉敷天城高校戦での勝利。これまで勝つことがなかった強豪だ。ゴールキーパーの清水美佳さんは、「不安はあったが気持ちを切り替え、絶対に関が止めるという思いで臨んだ」。自分たちのペースで試合を運ぶことができた。

き、決勝への自信になった。全国高校総体を目標に練習してきた彼女たちだったが、新型コロナウイルスの影響で中止に。モチベーションを失い、代わりとして行われた同大会も出場しなかつた。思い出づくりのため、最後にみんなで出ようよと話しました。江口怜奈さんの一言が周囲の心を動かし、大会制覇に向けて団結できたそう。

小・中学校からの競技経験者の中、唯一高校から始めた谷口怜さんは、「大変なことは多かったけど、みんなの励ましのおかげでここまでこれた」と話す。互いに支え合う深い絆が見えた。

同大会で部活動を引退した5人。今後は競技を続けるかどうかは決めていないという。最高の思い出を胸に、それぞれの未来へ向かって歩き始めた。

総社高等学校 女子ハンドボール部

岡山県高校総体代替大会で23年ぶりに優勝

修復された山門を間近で見学

井山宝福寺

井山宝福寺で8月23日、修復工事が完了した山門の現地見学会が開催されました。

国の登録有形文化財に指定されている山門は、明治31年に建設されたもの。2度目の改修となった今回は、屋根の瓦や材木の取り換えが行われました。

来場者は工事用の足場上がり、普段は下からしか見られない屋根を間近で見学していました。



① 工事関係者から説明を受ける来場者 ② 仏殿から見た山門



ミニフォト

チュッピーの応援ありがとう



これからもよろしくね

8月1日に入会申し込みを開始したチュッピーのファンクラブが、18日に会員1000人を突破しました。9月15日現在、1502人。入会・年会費は無料で、会員証がもらえるほか、定期的に会報やメールマガジンが届きます。

自分にできる防災を学ぶ



防災倉庫の中を確認

8月25日、総社中学校2年生が防災の体験学習を行いました。防災用品を備蓄した防災倉庫や仮設トイレなど、校内の設備を見学。学校が避難所として開設された場合を想定し、自分たちに何ができるか考えていました。

将来に向けた第一歩



企業の説明に耳を傾ける

9月2日、来年卒業予定の大学生などを対象に、総合福祉センターで就職面接会が開催されました。感染症対策のため、午前と午後の2部制で実施。市内企業26社は、優秀な人材を確保しようと丁寧に面接をしていました。

江口さん 100歳おめでとう



家族に祝福される江口さん

江口敏子さん（清音軽部）が8月19日に満100歳の誕生日を迎えられ、23日に市から記念品が贈られました。旅行や歌が好きだった江口さん。長寿の秘訣は、いつも感謝の気持ちを忘れないことだそうです。

湿地を彩る小さな白い花



直径は3センチほど

8月中旬から下旬にかけて、ヒイゴ池湿地に咲いたサギソウが見頃を迎え、訪れた人の目を楽せました。白色のサギが飛翔する形に似ていることからその名がつけられた花で、県の絶滅危惧種に指定されています。

コロナ禍の災害に備えて



地区ごとに代表者が先導して避難

8月30日、下原・砂古地区で防災避難訓練が行われ、住民258人が参加しました。今回はコロナ禍での災害を想定。各自避難前に検温や消毒を行ったほか、在宅避難を取り入れた分散型避難も試行しました。